

令和4年度予算(案)のポイント

令和4年2月14日

小樽市財政部

※ 数値は概数のため、端数は合わないことがある

※ 前年度比は、令和3年度当初予算額との比較

1 予算編成のポイント

～「つなぐ」100年の歴史、次世代へ～

これまで積み重ねてきた取組を着実に前へ進め、時代の要請に応える取組を推進するため、総合計画の「まちづくり 6つのテーマ」に沿って、将来を見据えた課題に向けた施策を展開

○主要事業（主に新規・拡充事業）

安心して子どもを生み育てることのできるまち（子ども・子育て）

医療扶助費の助成範囲を拡大、新生児聴覚検査費用の助成、公立3保育所のエアコン整備、民間保育施設（さくら幼稚園、ゆりかご保育園）の園舎改築経費の一部を補助、保育士・幼稚園教諭等の処遇改善のために必要な費用を補助、児童・生徒の机を新JIS規格の机に順次更新、忍路中央小耐震補強等工事の実施、桂岡小の耐震補強等工事及び朝里中の長寿命化改修に向けた実施設計に着手、小中学校屋内運動場暖房設備改修など

誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち（市民福祉）

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種体制の確保のほか受診・相談センターの設置や検査体制などの対応を継続、（仮称）第3次小樽市男女共同参画基本計画の策定に着手、後期高齢者の健康診査・歯科健康診査の受診勧奨リーフレットの配布や個別勧奨の実施など

強みを生かした産業振興によるにぎわいのまち（産業振興）

おたるプレミアム付商品券事業の実施、空き店舗対策支援事業の要件緩和、経営力強化に向けた女性復職及びパッケージデザイン制作の支援、企業視察費用の一部を助成、観光事業者のおもてなし推進事業、教育旅行誘致促進事業、旧第3倉庫ライトアップ事業、（仮称）堺町駐車場整備事業、第3号ふ頭基部の小型船だまり整備に着手、第3号ふ頭のクルーズターミナル・駐車場及び緑地整備の推進など

生活基盤が充実した安全で暮らしやすいまち（生活基盤）

除排雪機械の計画的な更新・整備（ロータリ除雪車6台、凍結防止剤散布車1台）、高規格救急自動車の更新、災害対応特殊消防ポンプ自動車の更新、望洋台地区歩道の根上り補修など

まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち（環境・景観）

再生可能エネルギー導入の方向性・基本方針の策定、省エネ最適化診断の実施、ごみの資源化・減量化の検討等に向けた家庭系一般廃棄物の組成分析調査の実施、旧国鉄手宮線の枕木及び枕木花壇の更新、公園の除草回数及び街路樹剪定の拡充など

生きがいにあふれ、人と文化を育むまち（生きがい・文化）

重要文化財「旧手宮鉄道施設」の維持補修、手宮陸上競技場附帯設備更新（棒高跳び用マット）など

○不測の財政需要に対応するための財政調整基金の確保

当初予算編成後財調残高 19億7,500万円（前年同時期 8億3,500万円）

2 予 算 規 模

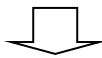
① 一般会計	581.5億円	(前年度当初予算比	+19.1億円	+3.4%)
② 特別会計	327.6億円	(前年度当初予算比	+7.2億円	+2.2%)
③ 企業会計	268.9億円	(前年度当初予算比	+10.6億円	+4.1%)
全 会 計		1,178.0億円	(前年度当初予算比	+36.9億円 +3.2%)

3 収 入 状 況

○ 市税については、固定資産税は減少するものの、個人市民税と法人市民税の増加などにより前年度よりも増額で見込む。また、地方譲与税や交付金については、法人事業税交付金や地方消費税は増加するものの、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の皆減などにより減額が見込まれる。

○ 実質的な地方交付税については、地方交付税は国の地方財政対策を基に、国勢調査による人口減や生活保護費の減などの基準財政需要額の減要素も含めて算出して増額で見込むものの、臨時財政対策債については国が好調な地方税收等を背景にして大幅に縮減したことから、本市の臨時財政対策債は減少し、トータルで前年度よりも減額で見込む。

○ 令和4年度も引き続き、予算編成に財源不足が生じている。



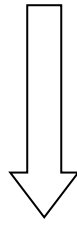
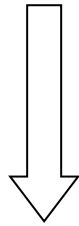
○ 過疎債ソフト分の充当及び財政調整基金の取崩しなどにより、収支均衡予算を編成。

① 一般財源収入	334.9億円	(前年度当初予算比 ▲2.6億円▲0.8%)
② 必要な一般財源	341.7億円	(前年度当初予算比 ▲5.6億円▲1.6%)
③ 財源不足額	▲6.8億円	(前年度財源不足額 ▲9.8億円)
④ 財源対策	過疎債ソフト分の充当(2.0億円)、 財政調整基金の取崩し(4.8億円)により、 収支均衡予算を編成	

令和4年度予算編成の状況(一般会計・一般財源ベース)

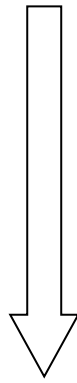
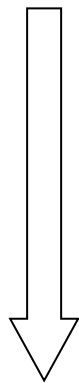
※ 各項目で四捨五入しているため、
合計や増減額が合わないことがある。

	令和3年度	令和4年度	増・▲減 [単位:億円]
一般財源収入 (財源対策前) (A)	337.5	334.9	▲2.6 (▲0.8%)



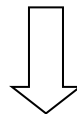
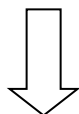
※ 主な増減	
市 税	+3.1
譲与税・交付金	▲1.3
地方交付税	+8.1
臨 財 債	▲12.1

	令和3年度	令和4年度	増・▲減
歳出充当一般 財源必要額 (B)	347.3	341.7	▲5.6 (▲1.6%)



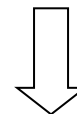
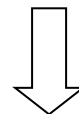
※ 主な増減	
人 件 費	▲1.3
扶 助 費	▲0.4
公 債 費	▲6.0
行 政 経 費	+1.5
負担金補助	▲0.5
維持補修費	+0.7
建設事業費	▲0.2

	令和3年度	令和4年度
財源対策前の 財源不足額 (A) - (B)	▲9.8	▲6.8



	令和3年度	令和4年度
(財源対策) 過疎債ソト 財調取崩	1.8 8.0	2.0 4.8

← 24.6 (R3.5定補正後
財調残高)



過疎債ソト分の充当及び財政調整基金
の取崩しにより収支均衡

令和4年度一般会計予算(案)の概要

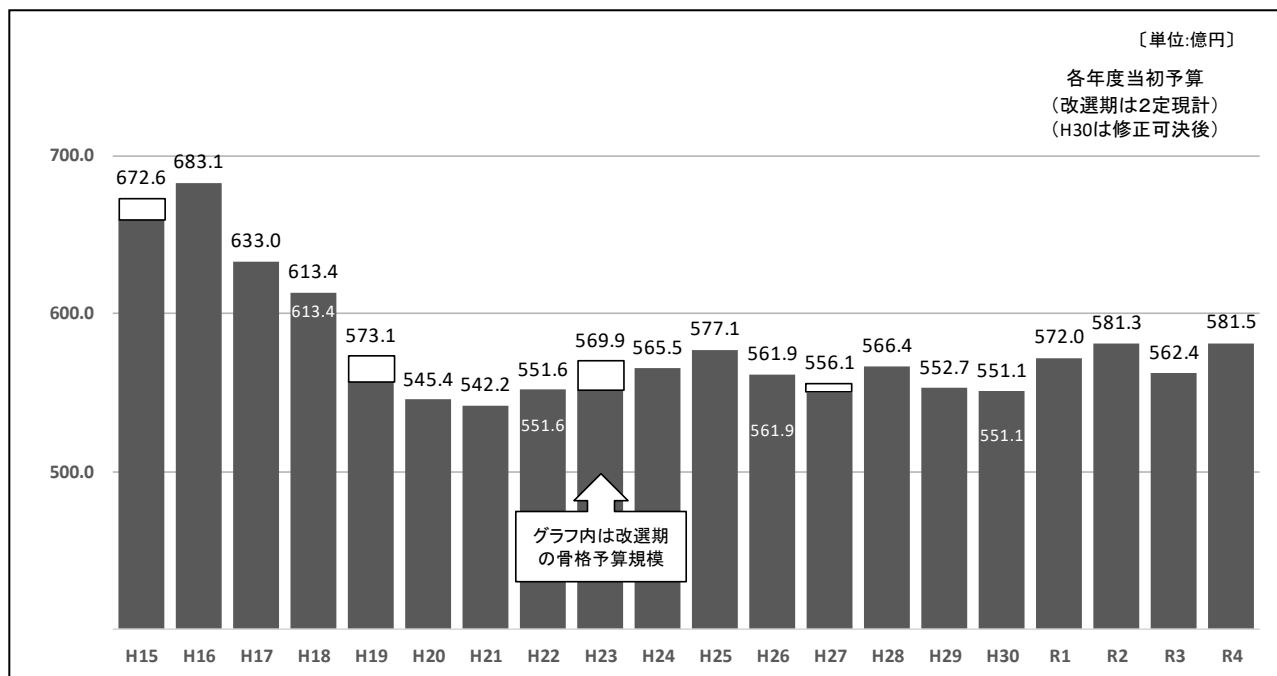
※ 数値は概数のため、端数は合わないことがある

※ 前年度比は、令和3年度当初予算額との比較

1 予算規模 581.5億円（対前年度当初予算比 +19.1億円）

	令和3年度	令和4年度	増減	増減率
一般会計	562.4億円	581.5億円	19.1億円	3.4%

一般会計予算規模の推移



※予算規模 最大…平成11年度 749.1億円

※予算規模については建設事業費の増減による年度ごとの変動要素があるとともに、平成27～30年度は除雪費にかかる経費の一部を当初予算では計上留保していますので、仮に除雪費にかかる経費の全てが当初予算から計上された場合、平成27年度562.7億円、28年度578.1億円、29年度565.7億円、30年度560.2億円となり、平成25～令和4年度までの10年平均では570.3億円となります。

2 歳 入

○市 税 138.1 億円 (対前年度当初予算比 +3.1 億円)

[単位: 億円、伸び率は予算説明書比較]

区 分	令和3年度	令和4年度	増減	伸び率
市民税	個人 37.9	41.0	3.1	8.3%
	法人 9.7	10.2	0.5	5.2%
固定資産税	65.8	65.2	▲ 0.6	▲ 0.9%
都市計画税	10.9	10.8	▲ 0.1	▲ 0.8%
たばこ税	8.6	8.4	▲ 0.2	▲ 2.2%
そ の 他	2.1	2.5	0.4	14.2%
合 計	135.0	138.1	3.1	2.3%

○譲与税・交付金 37.5 億円 (対前年度当初予算比 ▲1.3 億円)

(主な増減)

法人事業税交付金(+1.5 億円)、地方特例交付金(▲3.9 億円、うち新型コロナ減収補填特別交付金▲3.8 億円)

○地方交付税 153.5 億円 (対前年度当初予算比 +8.1 億円)

○臨時財政対策債 5.7 億円 (対前年度当初予算比 ▲12.1 億円)

[単位: 億円、伸び率は予算説明書比較]

区 分	令和3年度	令和4年度	増減	伸び率
地方交付税	145.4	153.5	8.1	5.6%
	普 通 136.0	144.1	8.1	6.0%
	特 別 9.4	9.4	0.0	0.0%
臨時財政対策債	17.8	5.7	▲ 12.1	▲ 68.1%
合 計	163.2	159.2	▲ 4.0	▲ 2.4%

※ 令和4年度の普通交付税は、3年度決算見込額(149.2 億円)より5.1 億円減で計上

※ 令和4年度の臨時財政対策債は、3年度決算見込額(15.3 億円)より9.6 億円減で計上

○国・道支出金 162.3 億円 (対前年度当初予算比 +12.1 億円)

(主な増減)

国庫支出金 生活保護費負担金(▲3.1 億円)、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(+4.4 億円)、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金(+3.2 億円)、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金(+2.4 億円)、保育所等整備交付金(さくら幼稚園、ゆりかご保育園)(+2.5 億円)、道路メンテナンス事業費補助金(橋りょう長寿命化)(▲1.5 億円)、子どものための教育・保育給付交付金(+1.1 億円)、国際クルーズ旅客受入機能高度化事業費補助金(+0.9 億円)

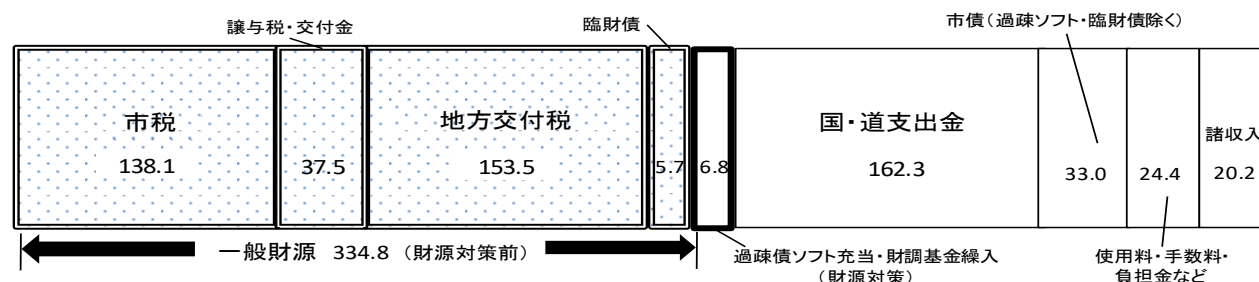
道支出金 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(▲0.6 億円)、子どものための教育・保育給付費負担金(+0.8 億円)、衆議院議員選挙委託金(▲0.6 億円)、参議院議員選挙委託金(+0.5 億円)

○市 債 35.0 億円 (対前年度当初予算比 +9.7 億円)

(主な増減)

※臨時財政対策債を除く

除却事業債(▲1.0 億円)、道路新設改良事業債(▲1.0 億円)、駐車場施設整備事業債(+3.9 億円)、港湾事業債(+2.3 億円)、建設機械整備事業債(+1.6 億円)、義務教育施設整備事業債(+3.3 億円)



3 歳 出 (経費別)

○人 件 費 91.4 億円 (対前年度当初予算比 ▲1.3 億円)

(主な増減) 退職手当 (▲0.7 億円)、給与 (▲0.6 億円)

○扶 助 費 168.0 億円 (対前年度当初予算比 ▲2.4 億円)

(主な増減)

生保扶助費 (▲4.1 億円)、子育てのための施設等利用給付費 (▲1.1 億円)、障害児給付費 (+0.9 億円)、
訓練等給付費 (+0.7 億円)、児童手当 (▲0.6 億円)、児童扶養手当 (▲0.6 億円)、
教育・保育給付費負担金 (+2.6 億円)

○公 債 費 46.5 億円 (対前年度当初予算比 ▲6.0 億円)

(主な増減) 市債元金 (▲5.7 億円、うち徴収猶予特例債分▲4.6 億円)、市債利子 (▲0.3 億円)

○負担金補助
及び交付金 54.5 億円 (対前年度当初予算比 +5.9 億円)

(主な増減)

民間保育施設等整備支援事業費補助金 (さくら幼稚園、ゆりかご保育園) (+4.4 億円)、
おたるプレミアム付商品券事業費 (+2.5 億円)、療養給付費負担金 (+0.9 億円)、
北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 (▲1.2 億円)、生活バス路線運行費補助金 (▲0.3 億円)、
鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金 (▲0.4 億円)

○維持補修費 20.7 億円 (対前年度当初予算比 ▲0.4 億円)

(主な増減)

旧緑小学校解体事業費 (▲0.8 億円)、除雪費 (+0.5 億円)

○建設事業費 40.2 億円 (対前年度比 +9.6 億円)

(主な増減)

橋りょう長寿命化事業費 (▲2.6 億円)、校舎等耐震補強等事業費 (塩谷小) (▲2.2 億円)、
高機能消防指令センター機器更新事業費 (▲1.1 億円)、校舎等耐震補強等事業費 (忍路中央小) (+5.1 億円)
(仮称) 堺町駐車場整備事業費 (+3.9 億円)、クルーズターミナル整備事業費 (+2.7 億円)、
建設機械整備費 (+1.6 億円)、清掃事業所改修事業費 (+1.3 億円)、
高等看護学院移転改修事業費 (▲0.9 億円)、ロードヒーティング更新事業費 (交付金事業) (+0.7 億円)

○繰 出 金 70.7 億円 (対前年度比 +0.5 億円)

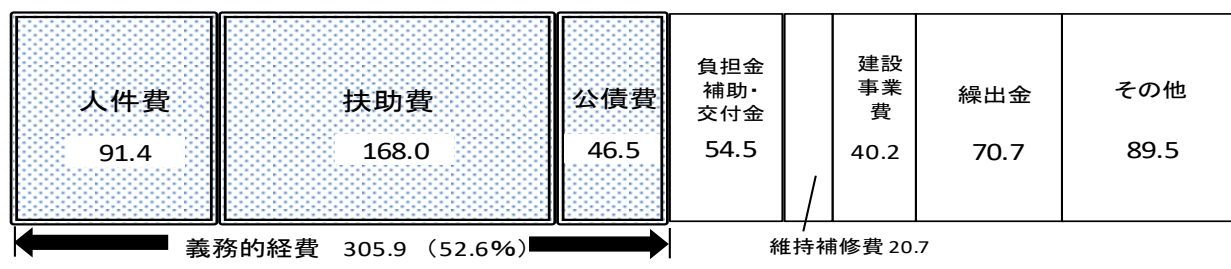
(主な増減)

病院事業 (+0.5 億円)、下水道事業 (▲0.6 億円)、介護事業 (+0.5 億円)

○そ の 他 89.5 億円 (対前年度比 +13.2 億円)

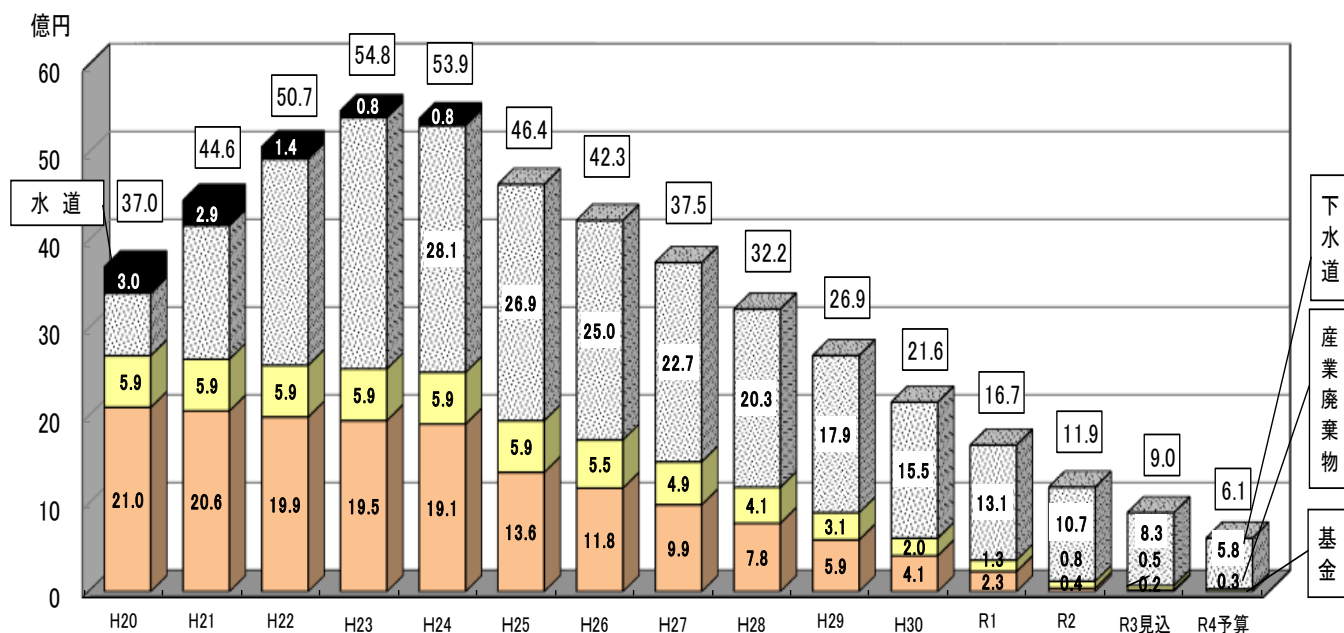
(主な増減)

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 (+3.2 億円)、新型コロナウイルスワクチン接種事業費
(+2.4 億円)、ふるさと応援基金積立金 (+4.0 億円)、ふるさと納税関係経費 (+1.4 億円)



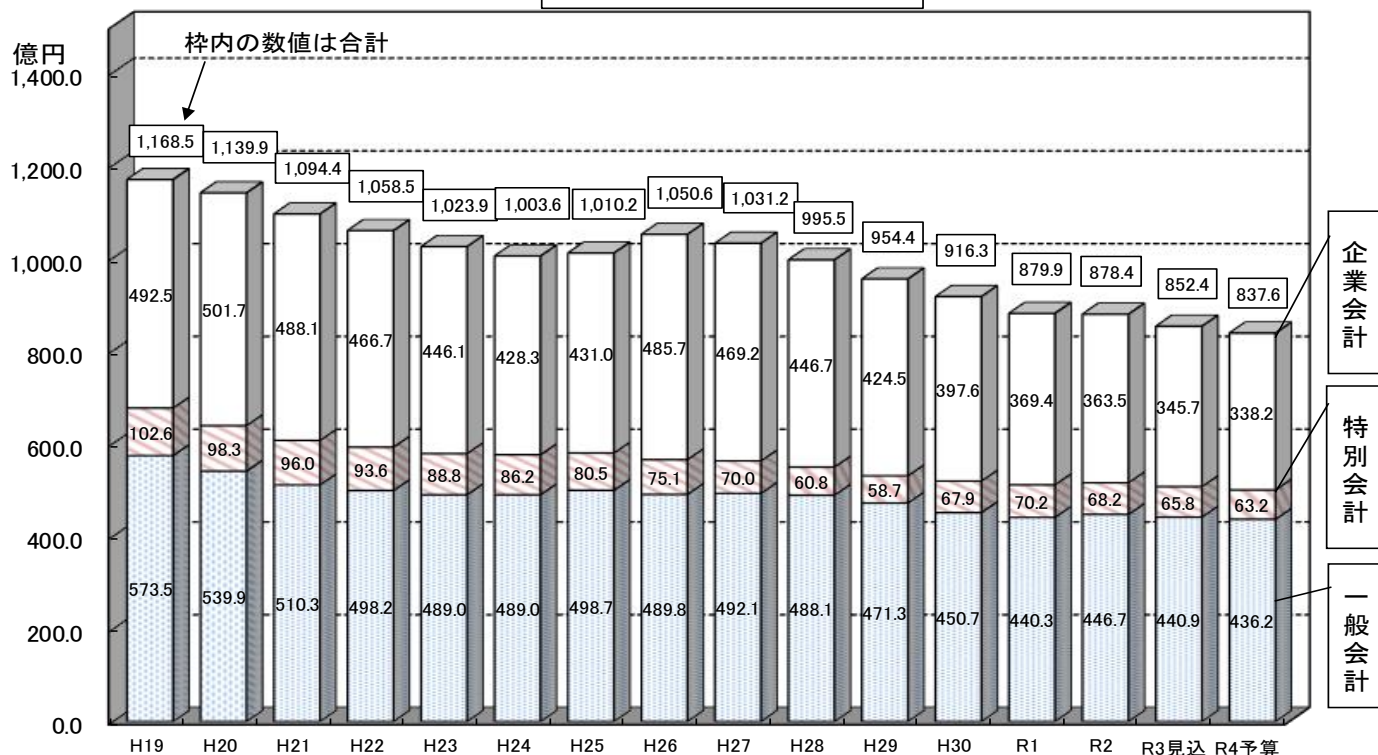
4 他会計等借入金の残高
令和4年度末の残高見込み 6.1億円（対前年度比▲2.9億円）

他会計等借入金年度末残高の推移



5 市債残高（全会計）
令和4年度末の残高見込み 837.6億円（対前年度比▲14.8億円）

年度末市債残高の推移



※市債残高 最大…平成11年度 1,424.0億円

※簡易水道事業は、平成29年4月に特別会計から企業会計へ移行

※産業廃棄物処分事業における借入分の償還は、令和2年4月以降は一般会計へ移行